

手作り遊具：通称「くるくるツイスター」

2023年1月11日
茨城県結城市・富士見幼稚園

ペットボトルと紐と「工夫」ですぐできます。

7年ほど前、孫に祖父が作ってあげたものを見本にして、みんなで作りました。
冬の遊びとして体がぼかぼか温まります。おすすめです。

材料

1. ペットボトル：市販の350cc程度の容量（大きさ）のもの。
2. ひも：太さ5～10mm、長さは仕上がり時に70cm程度になるよう調整。
3. 水：100cc程度。子供に応じて水の量を調整。砂またはコーヒーをドリップした後の粉。
4. 輪っかになるもの：針金にビニール布を巻いたもの、電気コード、ロープなど。

イメージ



工夫したところ

1. ペットボトルに色を付ける。
2. 水に色をつける。
3. 輪にビニールテープなどの色があるもの。
4. ひもはなるべくよれないもの（金剛打）。

遊び方

- リズムや曲に合わせてまわす。
- 凸凹のところは避ける。

- 足が疲れたらストップする。



ひらめき（科学する心につながるもの）

- ひもの長さをどうするか。
- 水の重さをどうするか。
- 輪の針金は足首に抵抗の少ないものにする。
- 人との距離をとること。
- 何回まわせるか競う（数の認識）。
- 足を上げる高さを工夫する（空間移動）。
- たくさん飛ぶにはどうしたらよいか遊びながら考え、工夫する。

